

事務事業 No./名称	□サービス部門 経企-01 企画総合計画事業 ■支援部門									
主管課	経営企画課	関連課								
分野名	行財政運営									
目標 (目標値)	地方自治法の本旨に即し、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るため。									
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	人口	177,224人	177,204人	177,161人						
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
運営資源状況	事業の対象者数									
	決算値(千円)	1,631	388	447						
	(国・県)									
	(負担金等)									
	(一般財源)	1,631	388	447						
	人員配置数	4.0	4.0	2.4						
	人件費(千円)	32,938	34,737	20,682						
事務事業運営経費	協働のパートナー		670							
	総事業費(千円)	34,569	35,125	21,129						
	市民1人当りの経費(円)	195	198	119						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	逗子市	横須賀市				
	実施計画の進行管理	○	○	○	○	○				
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
	政策分野別目標指標の達成率 (平成27年度目標)	○	目標値	100%	100%	100%	100%	100%		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	29.1%	25.2%	29.4%	31.4%				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
企画事務	519千円	①効率性△ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	地域活性化センター等が募集する補助金の受付申請事務、シティプロモーションに関する検討			
総合計画策定・推進事業	953千円	①効率性△ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	第2期基本計画の進行管理、中期実施計画の進行管理、後期実施計画の策定、市民意識調査、人口推計の実施			
政策研究事業	159千円	①効率性○ ②妥当性○ ③有効性○ ④公平性○		⇒ □A □B □C □D ■E	
	事業の概要	平成23年度に作成した公共施設白書のダイジェスト版の印刷製本費			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	後期実施計画事業における財源不足の解消及び平成26年度をスタートとする次期基本計画の策定作業を着実に進める。平成23年度に作成した公共施設白書について周知を行う。	
課題解決のための取組	次期基本計画の策定にあたり、硬直化している行財政運営を改め、持続可能な都市経営を進めるとともに、市民力、地域力が活きるまちづくりの推進等の視点をもって行った。また、庁内の検討体制の確立と合わせて「未来を共有する場づくり」として、市民等と一緒に考える機会を積極的に設けた。公共施設白書については、ダイジェスト版を作成し周知に活用した。なお、公共施設の再編については、都市政策事業にて推進している。	取組の結果 □解決 ■未解決
未解決の課題	持続可能な都市経営を進めるための取組として、歳入の抑制、歳入の確保が重要になるが、特に新たな歳入の確保については、研究段階であり、施策の実施に向けて具体的な取組が急がれる。	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○			課長等名
		③有効性 △		↓	
		④公平性 ○		B	経営企画課担当課長 渡邊 好二 下平 和彦

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
企画事務	主な個別事業	242 経営広報アドバイザー報酬	72	24	△	△	△	○
		242 シティプロモーションイベント謝礼	0	105	△	△	○	△
		241 (財)地域活性化センター会費	140	140	○	○	○	○
総合計画策定・推進事業	主な個別事業	243 総合計画専門委員報酬	595	0	△	○	○	○
		244 総合計画審議会委員報酬	1,064	670	○	○	○	○
		243 市民意識調査等用臨時的任用職員賃金	530	0	△	△	○	○
		243 都市経営セミナー講師謝礼	20	0	△	○	○	○
		243 市政アドバイザー謝礼	0	102	△	○	○	○
		243 市民ワールドカフェ謝礼	1,000	142	○	○	○	○
		243 市民ワールドカフェ会場使用料	0	20	○	○	○	○
政策研究事業	主な個別事業	1,435 公共施設白書概要版印刷製本費	297	159	○	○	○	○
主な個別事業								
主な個別事業								